

平成22年度研究開発成果概要書  
新世代ネットワーク技術戦略の実現に向けた萌芽的研究  
(ソーシャルメトリックに基づく新世代の統合アーキテクチャ)

(1) 研究開発の目的

背景:

現インターネットにおいては、モノ-モノ間の社会距離(=相互の信頼性・必要性・関連性)が近くても、物理距離(=到達できる早さ・範囲)が近いとは限らない。社会距離が遠い(必要性、関係性が低い)ものが近すぎる問題がある。オンラインソーシャルネットワーク、モバイルセンサー、Web クローリング等により、関係を表すリッチなコンテキスト情報が得られるようになったため、社会距離を定量化できる可能性が出てきた。

目標:

そこで、人-人、場所-場所、人-場所、人-モノ、モノ-場所…といった関係をソーシャルネットワークで表現し、関係の強さをソーシャルメトリックという一元的指標で表すことを提案する。提案メトリックに基づく資源・サービス制御によって、ユーザが真の価値を享受できる安心・安全なネットワークの実現を目指す。

(2) 研究開発期間

平成22年度(1年間)

(3) 委託先企業

国立大学法人 京都大学、国立大学法人 電気通信大学(再委託)、株式会社 神戸デジタル・ラボ(再委託)、Rutgers University(海外連携)

(4) 研究開発予算(百万円)

平成22年度 16

(5) 研究開発課題と担当

課題ア(ソーシャルメトリック評価・管理技術):

ア-1 Rutgers University(海外連携者)

ア-2 国立大学法人 京都大学(受託者)

課題イ(エンティティ統合化情報ストラクチャ):

国立大学法人 電気通信大学(再委託者)

課題ウ(仮想ネットワーク資源制御技術):

株式会社 神戸デジタル・ラボ(再委託者)

課題エ(エンティティ動的配置技術):

エ-1 Rutgers University(海外連携者)

エ-2 国立大学法人 京都大学(受託者)

(6) これまで得られた研究開発成果

(全体) 件

特許出願	国内出願	2
	外国出願	0
外部発表	研究論文	1
	報道発表	1
	その他研究発表	18
	展示会	0
	標準化提案	0

具体的な成果

- (1) 電子情報通信学会英文論文誌 採録決定
- (2) IEEE ICC2011 Workshop FutureNetIV 採録決定
- (3) IEEE ICCE(International Conference on Consumer Electronics) 2011 にて Best Paper Award ならびに IEEE CE Japan Chapter ICCE Young Scientist Paper Award を受賞